

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.59, 2015.3 : 13-17
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5469
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

牛津 信忠 うしづ・のぶただ

1945年生まれ。1970年同志社大学大学院修士課程（社会福祉学）修了。1975～1976年ロンドン大学（LSE）M.SC.コース留学。2004～2005年ケンブリッジ大学客員研究員。博士（学術）聖学院大学。現在、聖学院大学人間福祉学部教授（学部長）、聖学院大学大学院教授（人間福祉学研究科長）。

〔著書〕『社会福祉における相互的人格主義』Ⅰ・Ⅱ（久美）、『社会福祉原論』（編著、黎明書房）、『地域福祉論』（編著、黎明書房）、『標準社会福祉用語事典』（共編著、秀和システム）、『人間福祉スーパービジョン』（共編著、聖学院大学出版会）、『社会福祉における場の究明』（丸善プラネット：丸善出版）ほか。

〔訳書〕ロバート・ピンカー『社会福祉三つのモデル——福祉原理論の探究』（共訳、黎明書房）、Organisation for Economic Co-operation and Development編『ケアリング・ワールド』（共監訳、黎明書房）ほか。

阿久戸 光晴 あくど・みつはる

学校法人聖学院理事長兼院長。聖学院大学教授。聖学院大学総合研究所副所長・所長代行。1951年生まれ。一橋大学社会学部・法学部卒。住友化学工業株式会社勤務を経て、東京神学大学博士課程前期修了後、米国エモリー大学神学部大学院ほかに学ぶ。その傍ら聖学院大学および聖学院アトランタ国際学校開設業務を担当。その後、聖学院大学宗教主任兼助教授、聖学院大学学長を経て現職。その他、日本聖書協会新翻訳事業検討委員、荒川区不正防止委員会委員長など。

〔著書〕『近代デモクラシー思想の根源』、『説教集 新しき生』、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』（共著）、『神を仰ぎ、人に仕う』（共著）、『キリスト教学校の形成とチャレンジ』（共著）、*The Church Embracing the Sufferers, Moving Forward: Centurial Vision for Post-disaster Japan: Ecumenical Voices*（共著）、ほか多数。

窪寺 俊之 くぼてら・としゆき

聖学院大学人間福祉学部教授（こども心理学科長）、聖学院大学大学院教授。

1939年生まれ。博士（人間科学、大阪大学）。埼玉大学卒業（教育学部）、東京都立大学大学

院（臨床心理学）に学ぶ。米国エモリー大学大学院（M.Div.）（神学），コロンビア神学大学大学院（M.Th.）（牧会学）。米国，リッチモンド記念病院（ヴァージニア州）と淀川キリスト教病院（大阪市）でチャプレン（病院付牧師）。イーストベイ・フリーメソジスト教会牧師（米国，サンフランシスコ市）。関西学院大学神学部教授を経て現職。日本臨床死生学会常任理事，スピリチュアルケア学会常任理事，日本神学会会員，日本福音主義神学会会員，実践神学会会員，日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団評議員。

〔著書〕『スピリチュアルケア入門』，『スピリチュアルケア学序説』，『スピリチュアルケア学概説』，『スピリチュアルケアを語る』（共著），『続・スピリチュアルケアを語る』（共著），『緩和医療学』（共著），『死生論』（共著），『系統看護学講座 別巻10 ターミナルケア』（共著），『癒やしを求める魂の渇き』（編著），『スピリチュアルペインに向き合う』（編著），『スピリチュアルコミュニケーション』（編著），『スピリチュアルケアの実現に向けて』（編著），『愛に基づくスピリチュアルケア』（編著），『希望を支える臨床生死観』（編著）ほか。

〔訳書〕シャロン・フィッシュ，ジュディス・シェリー『看護の中の宗教的ケア』（共訳），D・D・ウィリアムズ『魂への配慮』，モーリス・ワイルズ『神学とは何か』，ルース・L・コップ『愛するものが死にゆくとき』（共訳），ほか。

尹 哲 昊 ユン・チョルホ

韓国長老会神学大学校教授・大学院長，組織神学，オンヌリ教会碩座教授。韓国長老会神学大学校（Th.B.），韓国長老会神学大学校神学大学院（M.Div.），米国Princeton神学校（Th.M.），米国Northwestern大学，Garrett Evangelical神学校（Ph.D.）。

〔著書〕『성서・신학・설교（聖書・神学・説教）』，『현대신학과 현대개혁신학（現代神学の現代改革の神学）』，『통전적 신학（統全的神学）』（共著），『21세기 한국교회와 하나님 나라를 위한 실천신학（21世紀の韓国の教会と神の国のための実践神学）』，『세계와의 관계성 안에서 계신 하나님（世界との関係性の中におられる神）』，『신뢰와 의혹：통전적인 탈근대적 기독교 해석학（信頼と疑惑——統全的・脱近代的キリスト教解釈学）』，『신학과 말씀（神学の言葉）』，『삼위일체 하나님과 세계（三位一体の神と世界）』，『너희는 나를 누구라 하느냐 통전적 예수 그리스도론（あなたがたはわたしを誰だということか——統全的イエス・キリスト論）』，ほか多数。

〔訳書〕Peter C. Hodgson，Robert H. King編『현대기독교조직신학（現代のキリスト教組織神学）』，Ted Peters編『과학과 종교：새로운 공명（科学と宗教——新しい共鳴）』（共訳），Paul Ricoeur『해석학과 인문사회과학（解釈学と人文社会科学）』，Alister E. McGrath『천국의 소망（天国の望み）』（共訳），David Tracy『다원성과 모호성（多元性と曖昧性）』（共訳），『현대신학자들의 설교（現代の神学者たちの説教）』（編訳）など。

洛 雲 海 ナグネ

1964年東京生まれ。日本人。東京神学大学大学院修士課程卒。延世大学校韓国語学堂卒。長老会神学大学校大学院博士課程卒。韓国長老会神学大学校助教授（組織神学）。神学博士（長老会神学大学校）。ソウル・セムナン教会（大韓イエス教長老会統合）協力牧師。

〔論文・訳書〕「伝道のパースペクティブにおける聖霊論——理性・靈性・身体性を統合する統全的聖霊論のための序説的試論」『季刊教会』No. 92.（東京，日本基督教団・改革長老教会協議会・教会研究所，2013），「説教のことばと説教者の生——ことばの受肉をめぐる説教者論」『神学』75号，山口隆康教授献呈論文集，東京神学大学神学会（東京，教文館，2013），‘춘계（春溪）이종성 박사의 종말론’ 책임편집 김도훈・박성규（「春溪 李鍾聲博士の終末論」）責任編集金道訓・朴成奎，『춘계 이종성 박사의 생애와 사상（春溪 李鍾聲博士の生涯と思想）』（서울，장로회신학대학교출판부，2014）ほか，論文翻訳書評多数。

朴 成 奎 パク・ソンギョ

韓国長老会神学大学校助教授，組織神学。韓国長老会神学大学校神学（Th.B.），韓国長老会神学大学校神学大学院（M.Div.），韓国長老会神学大学校大学院（Th.M.），ドイツMünster大学（Dr.theol.）。

〔主要論文〕「신학의 과제와 설교의 과제의 일치성에 대한 연구（神学の課題と説教の課題の一致性に関する研究）」，「칼 바르트의 만유화해론의 신학적 함의（カール・バルトの万人和解論の神学的含意）」，「장 칼뱅과 칼 바르트의 칭의와 성화 비교연구（ジャン・カルヴァンとカール・バルトにおける義認と聖化の比較研究）」，「칼 바르트 신학의 연구동향을 통해 본 한국 신학의 지형 분석（カール・バルトの神学の研究動向から見た韓国神学の地形についての分析）」など。

姜 尚 中 カン・サンジュン

聖学院大学学長，東京大学名誉教授。

1950年熊本県熊本市生まれ。国際基督教大学准教授，東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授，同大学現代韓国研究センター長などを経て，現在に至る。専攻は政治学，政治思想史。

〔著書〕『マックス・ウェーバーと近代』，『オリエンタリズムの彼方へ』，『ナショナリズム』，『東北アジア共同の家をめざして』，『増補版日朝関係の克服』，『在日』，『姜尚中の政治学入門』，『ニッポン・サバイバル』，『愛国の作法』，『悩む力』，『リーダーは半歩前を歩け』，『あなたは誰？私はここにいる』，『母——オモニ』，『心』，『心の力』。『グローバル化の遠近法』（共著），『ナショナリズムの克服』（共著），『デモクラシーの冒険』（共著），『戦争の世紀を超えて』（共著）。

著),『大日本・満州帝国の遺産』(共著),『在日一世の記憶』(編著),ほか多数。

高橋 義文 たかはし・よしぶみ

1943年,東京に生まれる。アンドリューズ大学大学院修士課程修了,東京神学大学大学院博士課程終了。神学博士(東京神学大学)。三育学院短期大学教授・学長,エモリー大学客員研究員,聖学院大学大学院教授を経て,現在,聖学院大学客員教授。聖学院大学総合研究所副所長。

〔著書〕『キリスト教を理解する』,『ラインホルド・ニーバーの歴史神学』,『ニーバーとリベラリズム』,『パウロ・ティリッヒ研究』(共著),『教育の神学』(共著),チャールズ・C・ブラウン『ニーバーとその時代』,ジョン・ウィッチ『自由と家族の法的基礎』(共監・共訳),ラインホルド・ニーバー『ソーシャルワークを支える宗教の視点』(共訳),ほか。

柳田 洋夫 やなぎだ・ひろお

1967年生まれ。東京大学文学部倫理学科卒。東京大学大学院人文科学研究科(倫理学)修士課程修了。同博士課程中退。東京神学大学大学院博士課程前期修了。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科後期博士課程修了。博士(学術)。現在,聖学院大学人文学部副チャプレン,人文学部日本文化学科准教授,日本基督教団聖学院教会協力牧師。

〔論文〕「山路愛山における『共同生活』概念について」(『聖学院大学総合研究所紀要』37号,2007年),「リチャード・ニーバーの責任倫理と日本人」(『季刊 教会』No.68・69,2007年),「山路愛山の教育論」(『キャンパス ミニストーリー』第19号,2009年),「なぜ日本に文化の神学が必要なのか——内村鑑三の文明論を中心に——」(『聖学院大学総合研究所紀要』47号,2010年),「関東大震災と説教者 植村正久と内村鑑三に即して」(『説教黙想 アレテシア』,日本キリスト教団出版局,2011年)など。

〔訳書〕コリン・E・ガントン『説教によるキリスト教教理』(教文館,2007年),アリスター・E・マクグラス『歴史のイエスと信仰のキリスト』(キリスト新聞社,2011年)。

菊地 順 きくち・じゅん

1955年生まれ。東北大学文学部卒業,同大学院文学研究科博士課程後期中退,東京神学大学大学院(修士)修了,米国エモリー大学大学院(Th. M)修了。1992年,聖学院大学専任講師,その後助教を経て,現在政治経済学部教授。なお,着任と同時にチャプレンを兼ねる。主な著書は,『信仰から信仰へ』,『とこしなえのもの』他。

古橋 亮 ふるはし・あきら

創価大学法学部卒業。聖学院大学大学院政治政策学研究科修士課程修了。修士（政治学）。修士課程在学中は、特定非営利活動法人コミュニティ活動支援センターの学生会員として、ほたる祭りの運営をはじめ地域コミュニティ活性化に取り組む。2013年8月から9月にかけて、岩手県釜石市で地域づくりの活動を行う一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校でボランティアに従事。2014年4月より、東京都東大和市役所に勤務。